

株主メモ

決算期	3月31日
配当金受領株主 確定日	3月31日 なお、中間配当を実施する場合の株主確定日は、 9月30日といたします。
定時株主総会	毎年6月
株主確定基準日	3月31日 そのほか必要があるときには、あらかじめ公告いたします。
単元株式数	100株
公告の方法	電子公告により行います。 ただし事故その他やむを得ない事由により電子公告によることが できないときは、日本経済新聞に掲載します。 公告掲載のホームページアドレス http://www.weds.co.jp
株主名簿管理 株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 〒105-8574 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱所 (お問合せ先) (郵便物送付先)	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 〒168-0063 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 (証券代行事務センター) 電話03 (3323) 7111 (大代表)
同取次所	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店・全国各支店

株式関係のお手続き用紙のご請求は、下記の中央三井信託銀行の電話およびインターネットでも24時間承っております。
電話 ☎ 0120-87-2031 (24時間受付：自動音声案内)
ホームページアドレス http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html



車と社会の未来を
グローバルに創造する



weds CO.,LTD.

株式会社ウェッズ

〒143-0016

東京都大田区大森北1-6-8 KDX大森ビル6階

TEL 03-5753-8201

URL <http://www.weds.co.jp>

42nd

第42期 中間報告書

平成18年4月1日から平成18年9月30日まで

weds
株式会社ウェッズ



証券コードNo.7551

● トップメッセージ

経営理念

「ウェッズの永遠のテーマ、それはCHALLENGEです。私達は人と車の未来に向けて、常に新しく価値ある商品を創造し社会に貢献します。」

経営指針

「私達は、お客様最優先の営業方針と会社・株主・社員三位一体の取り組みにより、会社の繁栄と安定を追求して、株主利益の向上と社員のライフプラン充実に努めます。」



代表取締役社長 川口 修

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

この度、第42期中間報告書をお届けするにあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。

当中間連結会計期間の概況

当中間連結会計期間における我が国経済は、輸出増加や円安等を背景に企業収益が好調に推移して設備投資・雇用・消費を牽引した結果、「いざなぎ景気」に並ぶ息の長い景気回復局面を迎えました。

一方、当上半期における自動車業界は、軽自動車販売好調なもの新車登録台数は前年割れが顕著であり、カー用品のアフターマーケットも需要低調に推移しました。

このような環境下、当社グループは業績確保に努めた結果、当中間連結会計期間の売上高は前中間連結会計期間対比276百万円(2.8%)減の9,619百万円、経常利益は同157百万円(1,220.4%)増の170百万円、中間純利益は同73百万円(204.4%)増の109百万円となりました。当中間連結会計期間の設備投資は95百万円であり、自己資金により賄いました。

通期の見通し

日本経済の通期の見通しは、戦後最長の「いざなぎ景気」を下半期に超えると見込まれていますが、輸出環境等が悪化すれば景気は踊り場に入ることも懸念されます。

自動車用品のアフターマーケットにおいては、販売競争の激化やアルミホイール原材料価格の上昇等によって収益環境は厳しさを増しますが、当社グループは競争に勝ち残るべく経営諸課題に鋭意取り組み所存であり、通期の連結及び単体の業績見通しはそれぞれ以下の通りです。(連結業績の見通し)

売上高 24,400百万円(前年比100%)
経常利益 520百万円(前年比145%)
当期純利益 300百万円(前年比123%)

(単体業績の見通し)

売上高 20,300百万円(前年比100%)
経常利益 360百万円(前年比112%)
当期純利益 190百万円(前年比92%)

※上記の業績見通しは現時点で入手可能な情報に基づいて当社経営者が判断したものです。実際の業績は様々な要因の変化により上記と大きく異なる結果になり得ることをご承知おきください。

当中間連結会計期間の事業セグメント別業績

今期に事業区分を一部変更し、自動車関連事業を自動車関連卸売事業と自動車関連小売事業に分離しました。

●自動車関連卸売事業

当中間連結会計期間における自動車関連卸売事業の売上高は、7,848百万円となり廉価品アルミホイールの拡販等により前中間連結会計期間対比305百万円(4.1%)増加しました。営業利益は81百万円となり同68百万円(510.8%)増加しました。

●自動車関連小売事業

当中間連結会計期間における自動車関連小売事業の売上高は728百万円となりタイヤ・ホイール等の拡販により前中間連結会計期間対比59百万円(8.9%)増加しました。

営業損失は3百万円となり同1百万円(-%)損失が減少しました。

●開発事業

当中間連結会計期間における開発事業の売上高は、674百万円となり中央精機

(株)向け機械の納入減により前中間連結会計期間対比664百万円(49.6%)減少しました。営業利益は45百万円となり同32百万円(41.9%)減少しました。

●福祉事業

福祉事業は昨年5月に営業開始しましたが、当中間連結会計期間における売上高は、185百万円となり前中間連結会計期間対比119百万円(178.1%)増加しました。営業利益は27百万円となり開業初年度の赤字から同108百万円(-%)利益改善しました。

●その他

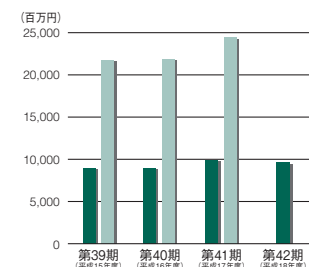
当中間連結会計期間における携帯電話代理店事業の売上高は、278百万円となり、ドコモ豊橋閉店等により前中間連結会計期間対比70百万円(20.1%)減少しました。営業損失は4百万円となり同2百万円(-%)損失が増加しました。

平成18年12月

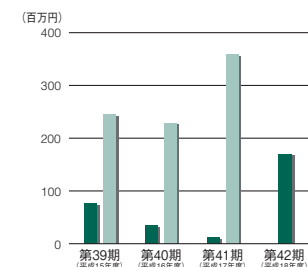
代表取締役社長 川口 修

連結 ■ 中間 ■ 通期

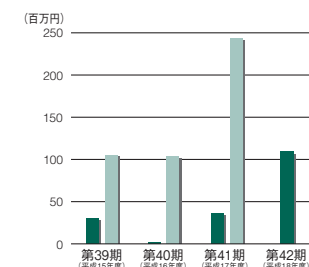
売上高



経常利益



中間(当期)純利益



●第39期は流通事業本部分割前であり単体決算。

セグメント別売上高・営業利益(中間連結会計期間)

		セグメント別						計
		自動車関連卸売	自動車関連小売	開発事業	福祉事業	その他	消去	
売上高	第42期中間	7,848	728	674	185	278	△96	9,619
	第41期中間	7,542	668	1,339	66	348	△70	9,895
営業利益	第42期中間	81	△3	45	27	△4	1	148
	第41期中間	13	△4	78	△80	△2	0	4



● 中間連結財務諸表

42nd

中間連結貸借対照表 (要約) (単位：百万円)

科目	第42期中間 平成18年9月30日現在	第41期中間 平成17年9月30日現在	第41期 平成18年3月31日現在
(資産の部)			
流動資産	8,338	8,374	7,846
現金及び預金	589	917	1,543
受取手形及び売掛金	2,707	3,039	3,519
たな卸資産	4,129	3,638	1,823
繰延税金資産	37	174	129
その他	885	630	855
貸倒引当金	△11	△25	△25
固定資産	5,112	4,323	5,021
有形固定資産	2,938	2,697	2,842
建物及び構築物	1,682	1,646	1,688
土地	1,099	934	992
建設仮勘定	—	59	—
その他	156	56	161
無形固定資産	376	47	348
投資その他の資産	1,797	1,579	1,831
繰延税金資産	23	15	18
その他	1,805	1,596	1,844
貸倒引当金	△32	△32	△32
繰延資産	5	7	6
資産合計	13,456	12,706	12,874

(注) 単位未満については切り捨てて表示しております。

科目	第42期中間 平成18年9月30日現在	第41期中間 平成17年9月30日現在	第41期 平成18年3月31日現在
(負債の部)			
流動負債	4,035	5,348	3,624
買掛金	1,636	2,117	1,503
短期借入金	1,666	2,653	1,206
その他	731	577	913
固定負債	2,949	1,432	3,038
社債	700	—	700
長期借入金	1,453	824	1,557
繰延税金負債	228	145	243
退職給付引当金	285	277	290
役員退職慰労引当金	123	109	117
その他	157	76	130
負債合計	6,984	6,780	6,662
(資本の部)			
資本金	—	852	852
資本剰余金	—	802	802
利益剰余金	—	4,138	4,323
その他有価証券評価差額金	—	132	234
自己株式	—	△0	△0
資本合計	—	5,925	6,212
負債・資本合計	—	12,706	12,874
(純資産の部)			
株主資本	6,034	—	—
資本金	852	—	—
資本剰余金	802	—	—
利益剰余金	4,379	—	—
自己株式	△0	—	—
評価・換算差額等	437	—	—
その他有価証券評価差額金	195	—	—
繰延ヘッジ損益	241	—	—
純資産合計	6,471	—	—
負債・純資産合計	13,456	—	—

中間連結損益計算書 (要約) (単位：百万円)

科目	第42期中間 平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで	第41期中間 平成17年4月1日から 平成17年9月30日まで	第41期 平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで
売上高	9,619	9,895	24,398
売上原価	7,668	8,174	20,060
売上総利益	1,950	1,721	4,337
販売費及び一般管理費	1,802	1,716	3,979
営業利益	148	4	358
営業外収益	52	38	71
営業外費用	30	30	71
経常利益	170	12	358
特別利益	34	81	81
特別損失	—	12	12
税金等調整前中間(当期)純利益	204	81	427
法人税、住民税及び事業税	60	10	79
法人税等調整額	34	35	104
中間(当期)純利益	109	36	243

(注) 単位未満については切り捨てて表示しております。

中間連結株主資本等変動計算書 (単位：百万円)

平成18年4月1日から平成18年9月30日まで

	株主資本					評価・換算差額等			純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等合計	
平成18年3月31日 残高	852	802	4,323	△0	5,977	234	—	234	6,212
中間連結会計期間中の変動額									
剰余金の配当 (注)			△22		△22				△22
役員賞与 (注)			△31		△31				△31
中間純利益			109		109				109
自己株式の取得				△0	△0				△0
株主資本以外の項目の 中間連結会計期間中の 変動額 (純額)						△38	241	202	202
中間連結会計期間中の変動額合計			56	△0	56	△38	241	202	259
平成18年9月30日 残高	852	802	4,379	△0	6,034	195	241	437	6,471

(注) 平成18年6月の定時株主総会における利益処分項目であります。

中間連結キャッシュ・フロー計算書 (要約) (単位：百万円)

科目	第42期中間 平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで	第41期中間 平成17年4月1日から 平成17年9月30日まで	第41期 平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	△992	△282	860
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△295	122	△358
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	334	506	459
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△9	—
V 現金及び現金同等物の増減額	△953	336	961
VI 現金及び現金同等物の期首残高	1,543	581	581
VII 現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	589	917	1,543

(注) 単位未満については切り捨てて表示しております。

会社概要

商号 株式会社ウェッズ
WEDS CO.,LTD.
本社 東京都大田区大森北1-6-8
KDX大森ビル6階
設立 昭和40年10月12日
資本金 8億5,275万円
従業員数 135名
業務内容 自動車用アルミホイール・スチール
ホイールを中心とした自動車部品・
用品の販売

役員

取締役社長 (代表取締役) 川口 修
常務取締役 谷越 時義
常務取締役 山口 義弘
取締役相談役 永井 秀哉
取締役 加藤 寛夫
取締役 大村 正夫
取締役 畑井 勇喜雄
取締役 伊澤 秀
常勤監査役 川崎 史博
監査役 木下 金司
監査役 本田 耕介
監査役 竹原 常雄

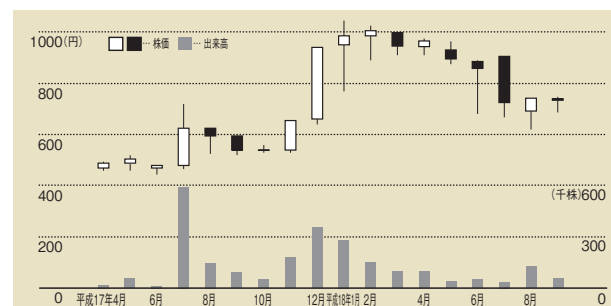
※取締役加藤寛夫氏は、会社法第2条第15号に定める資格要件を満たす社外取締役であります。
※監査役本田耕介氏及び竹原常雄氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

株式情報

■発行可能株式総数 17,780,000株
■発行済株式の総数 4,445,000株
■単元株式数 100株
■株主数 744名
■大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	出資比率(%)
中央精機株式会社	1,621,800	36.49
ソシエテ ジェネラル エヌアールアイ エヌオー デイ テイ テイ	301,000	6.77
石原 勝 成	242,759	5.46
株式会社三菱東京UFJ銀行	222,000	4.99
碧海信用金庫	130,000	2.92
民享工業股份有限公司	109,700	2.47
ウェッズ従業員持株会	105,510	2.37
株式会社三井住友銀行	91,000	2.05
六和機械股份有限公司	64,000	1.44
星野 肇	59,100	1.33

■株価推移



ウェッズスポーツセラカ、マレーシアの地で初表彰台へ！！

海外でも開催される“Super GT Race”。第4戦はマレーシア“セパンサーキット”にて今年6月24・25日に開催され、WedsSport Racing Team with BANDOは、予選を4位、決勝は優勝まであと少しのところでしたが3位でフィニッシュ！海外でも多くのレースファンを沸かせました。

サーキット、ラリーなど様々なモータースポーツフィールドやストリートで活躍する“WedsSport”。蓄積された技術とノウハウで、多くのユーザーに信頼と喜びを提供し続けています。



(株)スーパースター ドイツ「2006 AUTO MRCHANIKA」ショーへ出展！！

今年9月12日から9月17日までドイツにて開催された「2006 AUTO MRCHANIKA」ショーにグループ会社の(株)スーパースターがブースを出展しました。このショーは、ヨーロッパで開催される最大のモーターショーで、欧州をはじめ世界の一流ブランドメーカーが出展する重要なイベントとなっています。

当グループもスーパースターブランドを欧州マーケットへ拡販すべく、積極的な販売促進を展開していきます。

